

委員視察研修について

日 程 令和5年10月17日(火)、10月18日(水)、

1 日目**①円覚寺**

鎌倉時代後期の弘安5年(1282)に、時の執権 北条時宗が中国・宋より招いた無学祖元禅師により開山したと伝わる。境内には舍利殿(国宝)、洪鐘(国宝)を始め、仏殿、居士林、大方丈などの建造物が立ち並ぶ。

②明月院

「あじさい寺」の別名を持つ寺院で、平治元年(1159)、平治の乱で戦死した首藤(山ノ内)俊道の供養を目的として、息子の経俊が明月庵を建てたのが始まり。境内は国指定史跡になっており、伝北条時頼墓等がある。

③建長寺

建長5年(1253)に落慶され、建長7年(1255)に梵鐘(国宝)が作られた、日本最古の禅寺。国重要文化財の大覚禅師墓塔、法堂、仏殿などがある。

④鶴岡八幡宮

鎌倉八幡宮とも呼ばれ、康平6年(1063)に創建された。流鏝馬の神事が行われることで有名。境内は国の史跡に指定され、大鳥居、末社丸山稻荷社本殿、摂社若宮本殿などの国重要文化財が立ち並ぶ。

⑤鎌倉国宝館

大正12年の関東大震災の際、仏像や建造物に大きな被害が出たことから、貴重な文化財を被害から保護しえる施設の重要性が顕著となり昭和3年(1928)に設立された施設。鎌倉市に關係する鎌倉～室町期の絵画、彫刻、工芸、書跡、古文書などを保管・展示している。

(鎌倉市街宿泊)

2日目

東京都心方面

①泉岳寺

慶長17年(1612)に徳川家康が外桜田の地に門庵宗関を招いて創建した寺院で、後に赤穂義士やその主君であった浅野内匠頭長矩、その弟の長広(浅野大学)が葬られる。境内には学寮があり現在でも使用されている。また、赤穂義士の大石内蔵助良雄の銅像、義士墓入口の門なども見学できる。

②東京国立博物館

明治5年(1872)に創立され、日本と東洋の文化財(美術品、考古遺物など)の収集保管、展示公開、調査研究、普及などを目的とした、日本最古の博物館。現在国宝89件、重要文化財648件を含む2,651件もの寄託品を収蔵している。